| 学校番号 | 1208 |
|---|---|

# 平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

| 教科 | 科目（講座名） | 単位数 | 指導学年 | 履修の条件 |
|---|---|---|---|---|
| 専・家庭 | 服飾手芸（　服飾手芸乙　） | 2 | 3 | 服飾手芸（甲）<br>履修者 |

| 使用教科書 | 副読本等 |
|---|---|
| なし | なし |

| 準備物・費用等 | 必修／選択 | 全員履修 | セット | 自由選択 | 授業形態 | 講義 | 実技 | 実習 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4000円 | | | ○ | | | | | ○ |

## 1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊実習への参加の仕方や態度（関心・意欲・態度）によって評価します。
＊定期考査は実施せず、提出作品のでき具合（技能・表現）によって、成績評価を行います。
＊規定の作品が仕上がらない場合は補習があります。

## 2．学習の到達目標

服飾手芸（甲）で習得した基本的な技術をベースに、各種手芸の文化的理解および、技法などに関する知識と技術を習得させる。より創造的に手芸品を製作する能力と態度を養う。

## 3．学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b：思考・判断・表現 | c：技能 | d：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 手芸の構成・材料・製作について関心を持ち、家庭生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、創造的に製作する態度を身につけている。 | 手芸の構成・材料及び製作に関して、自分の嗜好との関連をみつけることができる。<br>目的に応じてどのような材料・デザインを選択するか判断しながら製作する力を身につけている。 | 実習を通じて、技能を修得し、デザインや材料の選択に関し創意・工夫することができる。<br>能率的に製作を行う技能があり、個人の創意・工夫を表現できる。 | 手芸の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、創造的に製作するために必要な知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ＊授業態度・出席状況・進度等で評価 | ＊製作した作品で評価<br>＊出来上がり感想文<br>＊鑑賞会での感想文 | ＊製作した作品で評価 | ＊ワークシート等で評価 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

| 月 | 単元（題材） | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4月<br>～<br>5月<br>中旬 | ＊ポケットティッシュケース<br>＊トートバッグ | ＊ミシン縫いの復習 | ○<br>○ | ○ | ○ | ○<br>○ | a:授業に遅刻せずに出席し、製作記録を書いているか。<br>b:作り方を読み解いて、自分の力で作品を仕上げることができる。<br>c:ミシンの基礎的技術を習得し、製作に生かすことができる。<br>d:ミシンの基礎的技術（返し縫・角縫い）の方法を理解する。 | ・実技テスト<br>・出席状況<br>・ワークシート<br>・製作の記録<br>・提出作品<br>・観察等 |
| 5月<br>下旬<br>～<br>7月 | ＊テディベア | ＊生地に適した糸の種類を学ぶ<br>＊半返し縫いの練習<br>＊コの字閉じの練習<br>＊サテンステッチ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:授業に遅刻せずに出席し、製作記録を書いているか。<br>b:テディベアの表情や洋服などを工夫することができる。<br>c:手縫いの応用的技術を習得し、製作に生かすことができる。<br>d:用途に応じた手縫いの技法（半返し縫い／コの字閉じ）を理解する。 | ・出席状況<br>・ワークシート<br>・製作の記録<br>・提出作品<br>・観察等 |
| 8月<br>下旬<br>～<br>10月<br>上旬 | ＊巾着袋 | ＊裏地付袋の縫い方<br>＊マチの付け方<br>＊紐通しの縫い方<br>＊抜きキャンパスを使ったクロスステッチの練習 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | a:授業に遅刻せずに出席し、製作記録を書いているか。<br>b:用途にあった大きさ、マチの有無を決定し、適切な長さで布を裁断できる。<br>c:ミシンの応用的技術を習得し、製作に生かすことができる。<br>d:手縫いとミシンを、用途に応じて使い分けることを理解する。 | ・出席状況<br>・ワークシート<br>・製作の記録<br>・提出作品<br>・観察等 |
| 10月<br>中旬<br>～<br>12月 | ＊かぎ針編みのバッグ | ＊かぎ針編みの基本<br>→毛糸の使い方<br>→かぎ針の持ち方<br>→鎖編み<br>→長編み | ○ | | ○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:授業に遅刻せずに出席し、製作記録を書いているか。<br>b:自分の進度に合わせて、完成品（デザイン・個数）を選択できる。<br>c:かぎ針の基礎的技術を習得し、製作に生かすことができる。<br>d:かぎ針編みの基礎（鎖編み、長編み）を理解する。 | ・出席状況<br>・ワークシート<br>・製作の記録<br>・提出作品<br>・観察等 |
| 1月<br>～<br>2月 | ＊UVレジン | ＊作品に適した材料や道具の選び方を知る<br>＊進度に応じて、作品をアレンジする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:授業に遅刻せずに出席し、製作記録を書いているか。<br>b:自分の進度に合わせて、完成品（デザイン・個数）を選択できる。<br>c:UVレジンの基礎的技術を習得し、製作に生かすことができる。<br>d:UVレジンの基礎（成型、色づけ）を理解する。 | ・出席状況<br>・ワークシート<br>・製作の記録<br>・提出作品<br>・観察等 |